

松隈杵右衛門（まつくまもくえもん）（1/2）

～巖木川を治める～

巖木町の天川地区を源流とする巖木川は、巖木町・相知町を流れ下って、久保で松浦川と合流します。この川は「びっき（カエル）の小便でも大水になる」と言われたように、少しの雨でも氾濫し村人は大変困っていました。

昔の巖木川の流れは、山崎のバス停留所あたりで大きく南へカーブして鶴殿岩屋（うどのいわや）の下で、再びカーブして久保駅付近で松浦川に合流していました。この2つの大カーブをもつ川の地形も大水が出ることの大きな原因でした。これを現在の流れに変えたのが松隈杵右衛門です。

松隈杵右衛門は寛政7年（1795年）、七山の池原村の庄屋から相知の大庄屋に栄転してきました。杵右衛門は相知に来てみてびっくりしました。1年に何度も水に浸かる村、水不足に苦しむ村であり、それはすなわち、農民の暮らしの貧しさと米の減収に繋がるのですから。杵右衛門は考えました。

そうです。何よりも「治水」から始めなければならぬと。まず「びわのくび」（相知中学校北側の谷間）にため池を作りました。そうすることで鶴殿岩屋の下方に広がる畑（地名畑田）を潤し、水田に変え、1年につき、十石あまりの年貢米の増収となりました。このころの古文書に例えば、「太郎の田が広さいくら増えて米の収穫量はいくら」と詳しく記録されたのが残っています。

次におこなったのは巖木川の改修です。、この新しい川によって川の氾濫が減り田地も増えました。さらに唐津へ行くにも2度渡った川が1度となり、村人は大助かりです。いまま古い川の間には「古川」の地名が残っています。ときの唐津城主水野忠鼎は紋章入りの麻袴を贈り、その功績を褒めました。

相知の押川にも大ため池を作りました。ここからの水は相知の宿通りの家の裏（北側）を流れ、相知の田を潤し、畑田に流れています。

杵右衛門最大の難工事は巖木川の右岸の横枕と左岸の高取に大井堰を設ける事業でした。文化元年（1804年）唐津藩の許可を受けて工事を始めましたが、杵右衛門は皆の先頭にたって指揮をし、夜も草鞋履きのまま土間に寝るありさまでした。

相知図書館の前から中山方面の裏山を眺めると、左の方にぴよこんと高いところがあります。そこは江戸時代の唐津へ行く街道の一つで、「はねんぎょう」といいます。杵右衛門は夜そこから相知の方を眺めます。農民たちに提灯を持たせて並ばせ、土地の高低を調べたそうです。

横枕の水は中山の田（現在は相知交流文化センターや住宅地）を潤し、山崎で松浦川を渡り（ここは昭和29年から）久保の田へ入ります。長い水の旅で、今も生きています。

～2/2へつづく～

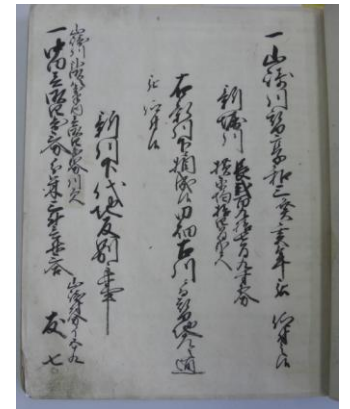
分野 人物

地域 相知

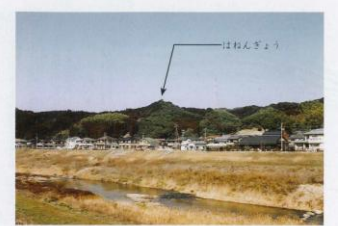
◎地図・写真・統計資料など



巖木川の改修



山崎川替の文書



はねんぎょう

（『郷土につくした人々』より）

◎引用・参考文献（出典）

◆『郷土につくした人々』
～ふるさと唐津の偉人たち～

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html

松隈杵右衛門（まつくまもくえもん）（2/2）

～巖木川を治める～

～1/2からつづく～

このような治水事業の手助けをしたのは進藤^{しんとう}確^{かく}齋^{さい}です。確齋は当時、治水の神様と称されていた藤津郡塩田村の前田伸右衛門に教えてもらって、これを杵右衛門に伝えました。これら一連の水利事業は同時進行で、13年の歳月を要しましたが、杵右衛門の人徳と、農民の収穫を喜びたい心、さらに費用の援助を惜しまなかった村の富豪たち、すべてが一致して大事業が終ったのです。

これらによって水田百町歩（約100^歩）が増えています。文化10年（1813年）杵右衛門は唐津城主の水野忠邦から褒賞状と米10俵を頂いています。そして文化14年（1817年）正月には平原村の大庄屋として転じました。5年後の文政5年（1822年）63歳で生涯を終えました。

杵右衛門が築いたため池や溝等の大半は、現在も農業用水として使用され、相知の農業基盤となっています。

相知の村人たちはその恩を忘れず、没後100年余も経った大正8年（1919年）7月、熊野神社の下の境内にその彰徳碑を建立、命日には七山村への墓参りを欠かさずに行っていました。

分野 人物

地域 相知

◎地図・写真・統計資料など



松隈翁灌田記念碑

（『郷土につくした人々』より）

◎引用・参考文献（出典）

◆『郷土につくした人々』
～ふるさと唐津の偉人たち～

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html